

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	武雄市立武雄北中学校
1 前年度 評価結果の概要	家庭学習の習慣化を狙った「810大作戦」が形骸化している様子があるため、次年度は、集団での学びあい（授業）と個の自学力（家庭学習）をタブレットをうまく使いリンクさせるような見直しが必要である。各種行事において全員が主体的に役割を果たした。今後も地域とつながる機会を増やしなが、心身ともに健康な生徒の育成を図りたい。不登校生徒等の共通理解や対応はよくできた。ここに応じた指導の工夫や外部との連携との強化を図り、より適切な指導や対応、不登校の未然防止に取り組んでいく。
2 学校教育目標	「志をもちゆめ実現を目指す人」「自ら学びを求め人」「心身ともに健康な人」
3 本年度の重点目標	生徒会など自主的な活動の活性化 丁寧な進路指導と学習意欲の醸成 部活動を充実させ、生徒の満足度を上げる

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価					
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果		評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ・学習内容の定着に向けたわかりやすい授業の実践	●「学級(クラス)の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒70%以上	・各教科や領域において、毎時間もしくは単元ごとに、学習目標にあった話し合い活動を設定する。また、振り返りを必ず行う。 ・各教科においてICTを有効に活用したり、他者とかわる活動を仕組んだ「個別最適な学び」と「協働的な学び」につながる授業づくりを実践する。 ・タブレットドリルを授業と関連させて自主的な学習を促す。 ・810大作戦の継続と徹底。	・	・	・	・		・	・	学力向上担当 教務主任
	○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現 ○家庭学習の定着を目指した取り組み	○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現のため、ICTを利活用したり他者とかわる活動を仕組んだりしたと回答した教員が90%以上。 ○学校評価アンケートにおいて、授業の振り返りにおいてタブレットドリルを活用し、810大作戦を達成できたと回答する生徒60%以上	・各教科においてICTを有効に活用したり、他者とかわる活動を仕組んだ「個別最適な学び」と「協働的な学び」につながる授業づくりを実践する。 ・タブレットドリルを授業と関連させて自主的な学習を促す。 ・810大作戦の継続と徹底。	・	・	・	・		・	・	学力向上担当 研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒75%以上	・道徳の授業において、学級全体で意見を出し合う雰囲気づくりに努める。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施をして、授業の質の向上を目指す。 ・人権集会の場を設ける。	・	・	・	・		・	・	道徳教育推進教員
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○気になる生徒や変化のあった生徒についての情報(毎月実施の生活アンケート)等の共有が職員間で確実に行われ、対応についての共通理解が図られていると回答した教員90%以上	・生徒指導協議会で気になる生徒について共通理解を図り、関係機関との連絡を密にし、生徒が安心・安全に生活できる環境を作る。 ・生活アンケートや教育相談アンケート等を実施し、記述の内容について学年、生徒指導を情報共有し、いじめの早期予防、早期発見に努める。	・	・	・	・		・	・	生徒指導 教育相談
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の生徒85%以上 ●「健康に良い食事をしている」生徒95%以上	・自分の足で登下校するように指導する。 ・部活動開始を帰りの会終了後15分以内にスタートできるように全職員でサポートする。 ・食に関する専門的な知識や日頃の生活で役立つことを、年間計画をもとに栄養教諭と連携して指導する。 朝食摂取率95%以上を目指すとともに、栄養バランスにそった食育指導を行う。	・	・	・	・		・	・	体育主任 食育担当
	○望ましい生活習慣の形成	○学習や運動に計画的に取り組むとともに、余暇を有効活用しながら生活リズムを整え、十分な睡眠を確保できていると答えた生徒70%以上	・生活習慣アンケートの実施。 ・生活アンケートをもとに、生活習慣についての見直しを行う。	・	・	・	・		・	・	生徒指導
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守	・タイムレコーダーを活用し職員の毎月の時間外勤務時間を把握し適切な指導を行う。 ・定時退勤日や、部活動休養日を年休取得推進日として設定する。 ・挨拶や声掛けを大切にし、お互いが見守りあう組織づくりを行う。	・	・	・	・		・	・	教頭
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価				主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果		評価		意見や提言
○生徒の自主的な活動の充実	○「夢プロジェクト」の推進	○武雄北中の一員として、「地域・社会貢献」を考えた「夢プロジェクト」に意欲的に取り組んだと回答した生徒70%以上	・生徒全員で夢プロジェクトや生徒会の活動に取り組み、学校や地域に貢献し、達成感を味わうことができるような活動を行う。	・	・	・	・		・	・	生徒会担当 夢プロ委員会担当

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------